

## Q-0201 コンクリート舗装は施工が難しいのではないですか？

コンクリート舗装とアスファルト舗装では、路床から路盤までの施工工程はほとんど変わらないが、表層の施工方法が異なる。アスファルト舗装の表層は一般に転圧工法で施工されるが、コンクリート舗装の表層は、大別するとセットフォーム工法、スリップフォーム工法、又は転圧工法で施工される。大規模な舗装工事では各工法に応じた専用の舗設機械が用いられる。高速道路等の施工延長の長い舗装工事にはスリップフォーム工法、ヤード等の広い面積の舗装工事には転圧コンクリート工法、一般的な舗装工事にはセットフォーム工法が多く適用されている。一方、小規模な舗装工事では、簡易な施工機械を用いた簡易工法又は人力工法による場合が多い。以下にコンクリート舗装の簡易な施工方法の概要を示す。

- ① セットフォーム工法:簡易なコンクリートフィニッシャ又は人力施工により、スランプ 6.5cm の舗装コンクリートを用いて舗設する。施工の流れは、型枠設置→目地金物設置→敷きならし→締固め→平坦仕上げ→粗面仕上げ（箒目仕上げ）→目地切り→養生→型枠除去の工程で行われる。簡易なコンクリートフィニッシャを用いない場合には、土間コンの施工に準じて行えばよい。
- ② 転圧工法:汎用型のアスファルトフィニッシャにより、超硬練りのコンクリートを締固めて舗設する。施工の流れは、型枠設置→敷きならし→締固め→平坦仕上げ→目地切り→養生→型枠除去の工程で行われる。同じ工程でポーラスコンクリート舗装を舗設する場合には、締固めの工程で所定の空隙率となるよう締固め過ぎないように注意しなければならない。
- ③ 人力施工:生活道路の整備などを生コン舗装で行う場合には、スランプ 12cm 程度の普通コンクリートを用いた人力施工が行われる。施工の流れは、型枠設置→敷きならし→締固め→平坦仕上げ→目地板設置→粗面仕上げ（箒目仕上げ）→養生→型枠除去の工程で行われる。人力施工によるセットフォーム工法と同じように、土間コンの施工に準じて行えばよい。

コンクリートは、常温で扱いやすく、硬化が遅いので可使用時間が長く、特別な施工機械を用いないで施工できるので、材料支給制度を活用した生コン舗装等に多く適用されてきた。高温の材料を専用の機械で転圧して仕上げるアスファルト舗装より、コンクリート舗装は安全で簡易に施工することができる。したがって、コンクリート舗装の施工が特に難しいとはいえない。

なお、コンクリート舗装に関する技術資料として、全国生コンクリート工業組合連合会では「コンクリート舗装技術資料」やDVDを配布しているので、活用していただきたい。